

先日、2024.8.25(月)の午後 3:00 ～ 5:00 過ぎ頃に東京都広尾の末日聖徒イエス・キリスト教会本部の会議室で開催された**役員会の概要**を以下に報告します(以下の記事は、議論の順番とは異なり、内容に応じ関係あるところを一括りにしてある個所もある。内容は役員限り、敬称略)。

出席者：宝賀会長、真野・吉濱両副会長、金子・高信理事、堀監事及び赤坂顧問の7名。
当日までに、齊藤・西村・山邊氏3名の役員からの委任等の連絡もあった。

記

1 予算決算の問題

最近までの経理(昨年度の決算、今年度の進行状況等)について、計数説明がなされたが、更に総会に向けて精査を要する。今年度は会費値上げがあったが、まだ若干の赤字状態の模様であって、厳しい形の収支推移が続くことになりそうである。

2 今秋の次期総会

①ファミリーサーチさんのご協力で会場確保ができたので、例年通りの11月の第一土曜日、11/01(土)午後三時～に渋谷の末日聖徒イエス・キリスト教会・渋谷集会所で開催することとする(昨年など例年と同じ場所です)。

②**総会後の講演**については、次のとおり

渡邊顧問からの講師推薦を踏まえて、①亀谷氏、②山崎氏、③柴裕之氏等の順で、赤坂顧問及び渡邊顧問に交渉をお願いする。なお、椿井文書の研究で知られる馬部隆弘氏(中京大学教授)のお話もあったが、当会上記経理状況及び謝金・旅費負担額等の諸事情を考慮すると無理かと考えた。

※亀谷弘明氏：早稲田大学非常勤講師。古代地域社会史。著書に『古代木簡と地域社会の研究』(校倉書房)

山崎善弘氏：東京未来大学准教授。近世地域社会史。著書に『日本近世の国家・領主支配と地域社会』(塙書房)ほか。

柴裕之氏：東洋大学非常勤講師。織豊期政治史。著書に『戦国・織豊期大名徳川氏の領国支配』(岩田書院)ほか。同氏は、来年の大河ドラマの主人公、豊臣秀長に関する研究業績があるので、今年よりも来年にできれば、お願いしたい、という意見が出た。

③総会後の懇親会などは例年通りを考えます。

3 役員の変向及び改選に関して 今回の選任は任期が2年となります。

次2026年度の役員構成についての検討案は次のとおり。

①小佐々理事が退会しており、新役員(理事)候補として、何人か名があがったが、具体的には次のとおり。

②次期の新役員候補として岸本良信氏(北海道)を考え、折衝をするが、今後は女性役員もできれば登用したいとの意見が出され、鏑溝さん等の候補があがる。これらの交渉役に吉濱副会長が主にあたる。

4 当会の会員増強のため、宮下理事・赤坂顧問等のご尽力で会誌『姓氏と家系』の宣伝記事掲載が『本郷』(吉川弘文館)など幾つかでなされたが、今後ともこの関係の活

動につとめることとしたい。役員が他所で講演する際には、入会ガイドの配布等も考える。

以上の今回の役員会の判断・方向付けについて、ご意見・ご希望がおありの方は、ご連絡下さい。その辺の動向等を踏まえ、来る総会へ向けての準備を考えたいと思います。最後に、酷暑の時節柄、皆さまのご健勝をお祈りします。

(2025.08.29：宝賀文責。両副会長監修)